

NEOREST NX

CES(CS)900系
CES(CS)901系

必ず実施	・・・ P.2
安全上のご注意	・・・ P.5
取り付け前のご注意	・・・ P.7
同梱部品	・・・ P.8
準備するもの	・・・ P.8
各部について	・・・ P.9
取付方法	・・・ P.10
試運転	・・・ P.24

工事業者様へ

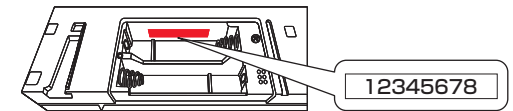
- 保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- 製品の機能、使いかたについてお客様に説明してください。
- 新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは：
 - ・分電盤のブレーカーを切るか、電源プラグを抜いてください。
 - ・電池の液漏れを避けるため、リモコンから電池を取りはずしてください。

工事業者様へ

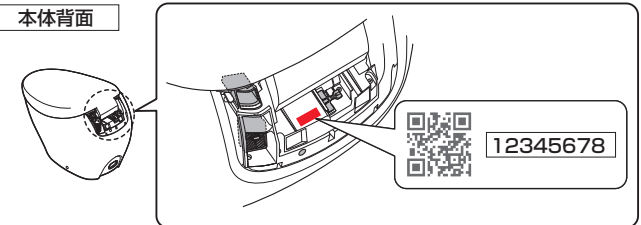
- 本体とリモコンは「組み合わせ設定」されています。同梱以外のものを取り付けないでください。

例) リモコンNo.12345678の場合

リモコン裏面



本体背面



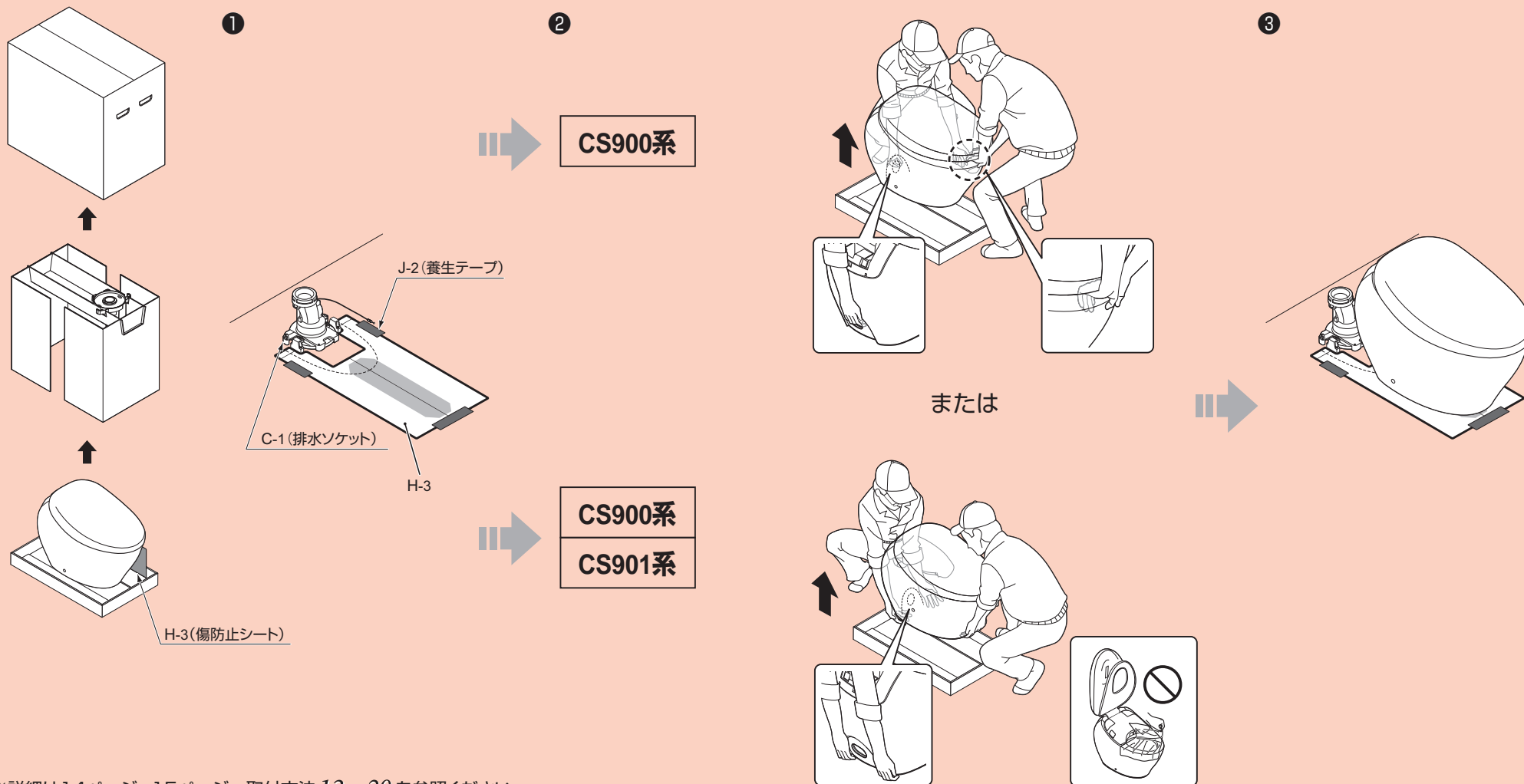
着座センサー部のラベルは、剥がさないでください。
(お客様に、着座センサーの位置をお知らせするため)

本体とリモコンのNo.(8桁)で、組み合わせを確認してください。



必ず実施

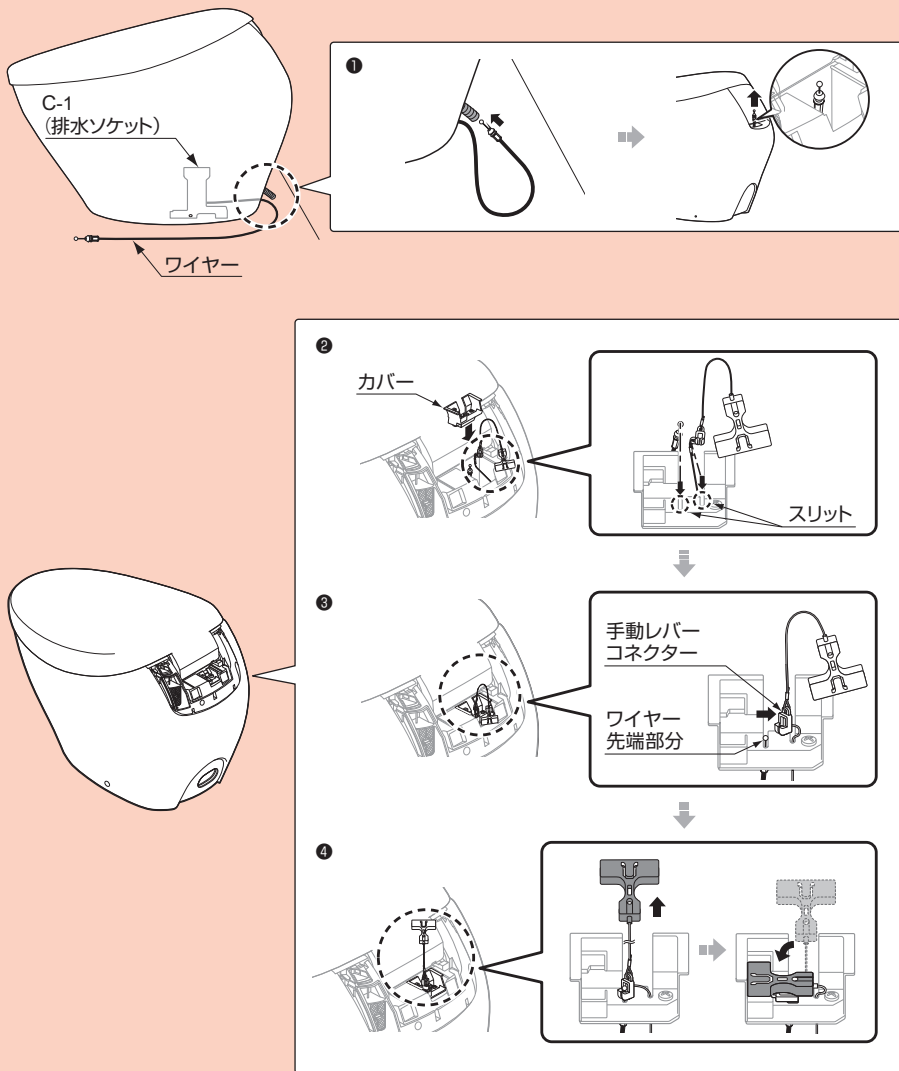
傷防止シートを使って便器を取り付けてください。



※詳細は14ページ・15ページ 取付方法13～20を参照ください。

必ず実施

排水ソケットのワイヤーを手動レバーに取り付けてください。



※詳細は18～19ページ 取付方法23～27を参照ください。

安全上のご注意

施工の前には必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、安全上の警告、注意事項を必ず守ってください。

警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容です。
-----------	--	-----------	--

絵表示の例

	してはいけない「禁止」の内容です。		必ず実行していただく「強制」の内容です。
--	-------------------	--	----------------------

- この機器はクラス1に属するため、アースに接続する必要があります。
- この機器は出力プラグに手が届くように置いてください。
- この機器に付属している新しいホースセットを使用し、古いホースセットは再利用しないでください。

警告

	<p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 指定する電源 (AC110V、60Hz) 以外では使用しない (火災や発熱の原因になります。) ● 電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない (火災や感電の原因になります。) ● 給水位置の真下にコンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない (結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。) ● 水道水および飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない、海水は使用しない (皮膚の炎症などを起こす原因や故障の原因になります。) ● 車輛・船舶など、移動体への設置はしない (火災や感電、ショート、故障などの原因になります。) ● 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない (便座・便ふたなどがはずれて落下し、けがをする原因になります。) ● コードを叩きつけない、引っ張らない、ねじらない、無理に曲げない、傷つけない、加工しない、加熱しない、重いものを載せない、束ねない、挟み込まない (傷んだまま使用すると、火災、感電、発熱、ショートの原因になります。) ● コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない (たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。) ● 0℃以下の環境では使用しない (凍結破損でけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。)
	<p>必ず実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグはコンセントに必ずしっかり差し込んでください (火災や感電の原因になります。) ● 必ずアース (三極) 電源コンセントを使用し、漏電遮断機 (30mA以下) に接続してください ● 電源プラグはシリコンゴムで防水処理が行われていることを確認してください (防水処理を行わないと火災や感電の原因になります。) ● プラグを抜くときコードでなくプラグを掴む (コードを引っ張ってプラグを抜いてはいけません。) ● 本製品は電気製品ですので、水のかかり易い場所、または製品の表面に水滴ができるような湿気の多い場所には設置しないでください。浴室内で使用する場合は、換気扇または換気口を設け、浴室内の空気がよく流れる状態にしてください (火災や感電の原因になります。) ● 製品を単体で運ぶ際は、必ず陶器部を持ってください。その他の部分を持って運ぶと破損し、けがや物的損害、水漏れの原因となります ● 万一電源コードが破損したら、危険回避のため必ずメーカーの修理部門またはそれに相当する専門員にて交換してください ● 製品は必ず冷水供給部に接続する (やけどもしくは、機器の故障の原因になります。) ● 本製品を設置する際は、各国の据え付け工事の制約条件に従ってください ● アースが適切に取り付けられていることを確認してください (アースを取り付けしないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。) ● アースには、アース抵抗が100Ω以下で、直径が1.6mm以上の銅線を使用します。 ※アースが取り付けられていないときは施工をした工事店に依頼してください。 ● 配線が正しく接続されていること (L極：ライブ、N極：ニュートラル) を確認してください (機器の故障の原因になります。) ● 固定配線に全極断路装置を設けること

⚠️ 注意



禁止

- **便器に強い力や衝撃を与えない**
(便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。)
- **便座・便ふたを持って製品を持ち上げない**
(本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
- **給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない**
(給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。)
- **止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない**
(止水栓を閉めないで水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。)

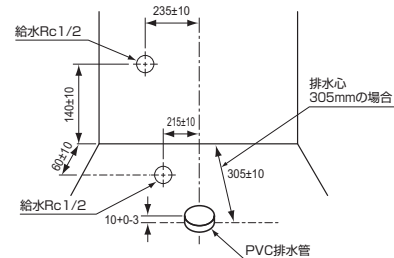


必ず実行

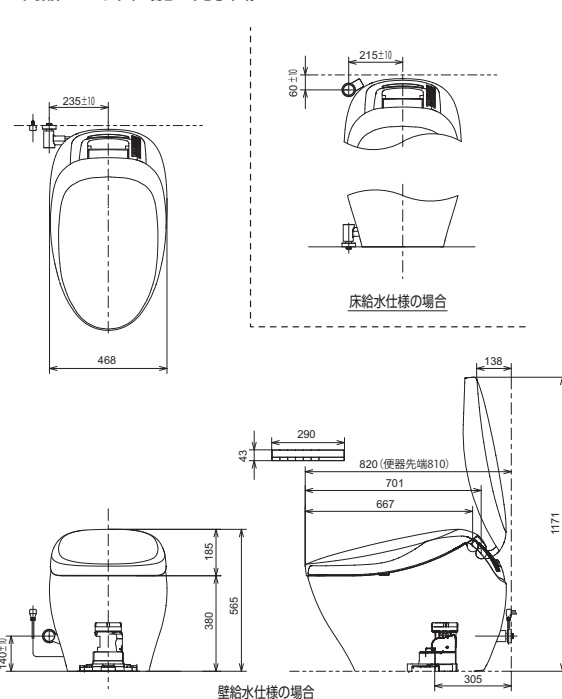
- **設置工事は、この説明書に従って確実に行う**
(故障や水漏れの原因になります。)
- **設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する**
(正常な取り付けができなくなる可能性があります。)
- **持ち運びや取り付けは必ず2人以上で行う**
(腰を痛めたり、便器を落として破損してけがをする原因になります。)
- **給水フィルターを取り付けるときは確実に締める**
(確実に締めないで水漏れの原因になります。)
- **電池の＋表示をよく確かめて入れる**
(電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因になります。)
- **長期間使わないときは、リモコンや電池ボックスから電池を取り出しておく**
(電池の液漏れの原因になります。)

取り付け前のご注意

- 便器ボウル内にはシリコン系シール材の汚れがつかないようにしてください。
- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
- 給水ホースの先端の接続部を破損しないでください。
- 給水圧力範囲は0.05MPa<流動時10L/min以上>～0.75MPa<静止時>です。この圧力範囲でご使用ください。給水圧が低いと便器洗浄し ないことがあります。
- 給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。
- 周囲使用温度は0～40℃です。この温度範囲でご使用ください。
- 各国の制約条件に従ってあらかじめコンセントの位置を確保してください。
- 施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。
- 排水管と床にすき間がある場合、防カビ性のシリコン系シール材(メジシール)にて充て込んでください。階下に水漏れが発生するおそれがあります。
- 下記の数値に適した配線および設置をしてください。
定格消費電力849W、最大消費電力1461W、電源コードの長さ1.2m
※器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。



商品セット図(施工完了図)



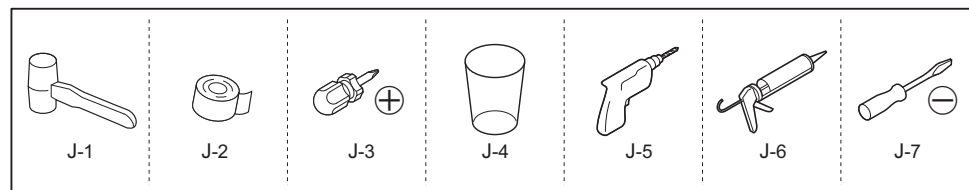
(mm)

同梱部品

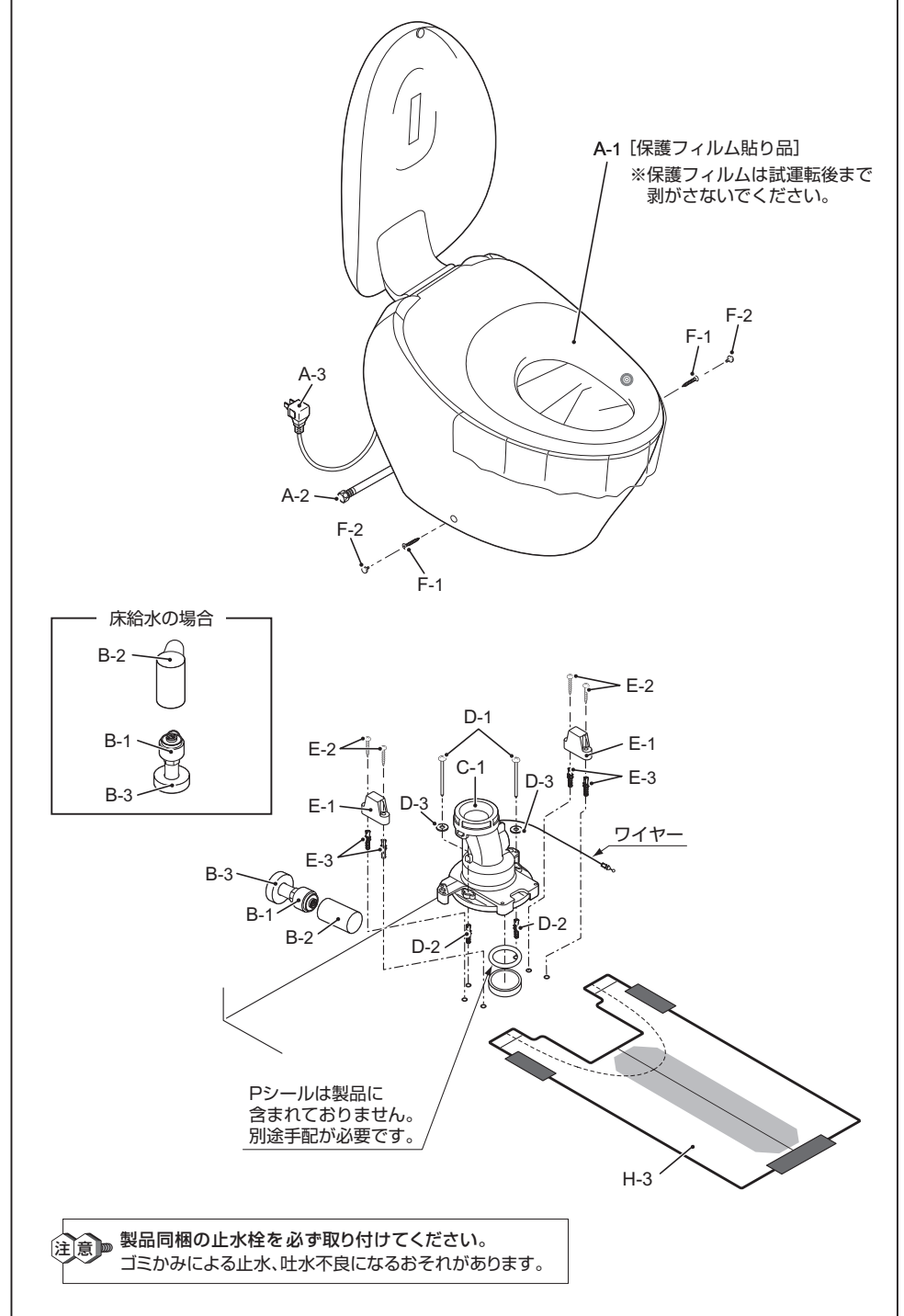
※部品があるか、下記を参照して確認してください。



準備するもの



各部について



取付方法

表示の意味について

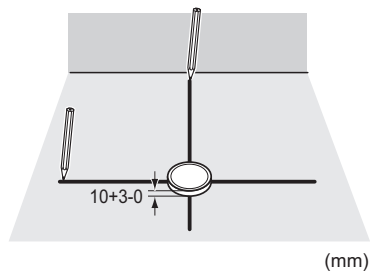
↓ : 施工者が行わなければならない作業です。

↓ : NEORESTが自動で行う作業です。

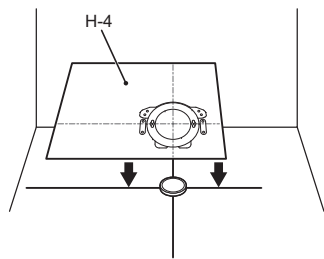
👁️ : 確認をしなければならない作業です。

⇓ : 作業の流れを表します。

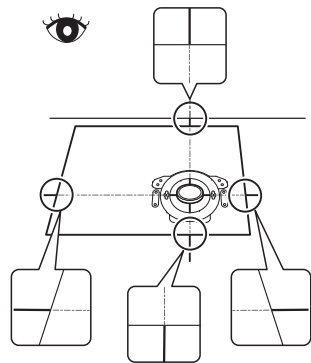
1



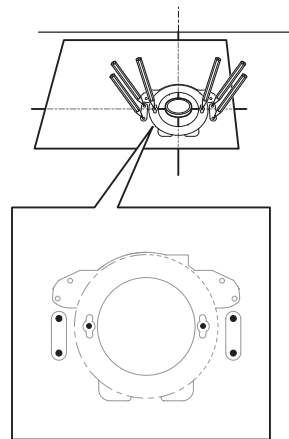
2



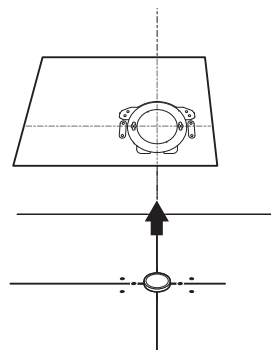
3



4



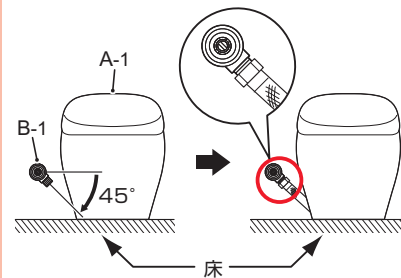
5



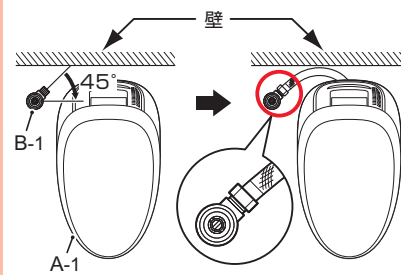
6

止水栓の給水取り出し方向を確認して取り付けてください!

壁給水の場合の止水栓取付方向



床給水の場合の止水栓取付方向



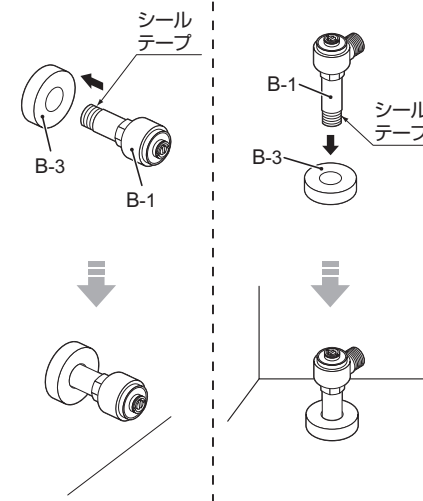
⚠️ 注意

! 止水栓の給水取り出し方向を45°の範囲で取り付ける
必ず実行 誤った方向に取り付けると洗浄不良や水漏れのおそれがあります。

※右給水の場合は、上図の左給水と左右対称の給水取り出し方向に取り付けてください。

壁給水の場合

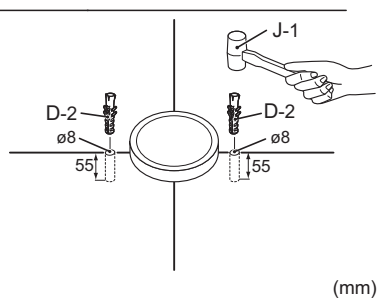
床給水の場合



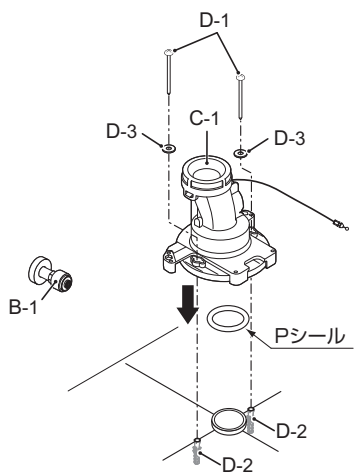
※ストレート管と床にすき間がある場合、防カビ性のシリコン系シール材(メジシール)にて充てんしてからカバー(B-3)を取り付けてください。
階下に水漏れが発生するおそれがあります。

注意 止水栓を必ず取り付けてください。
ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。

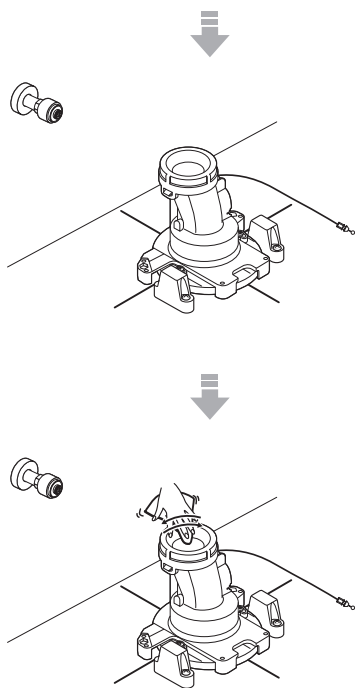
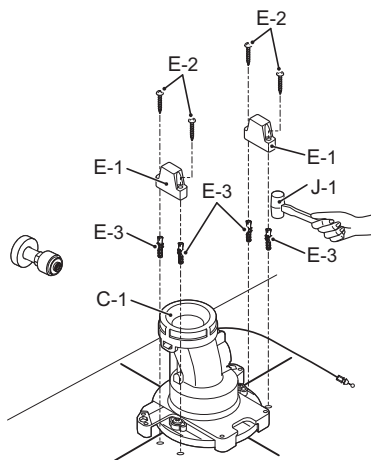
7



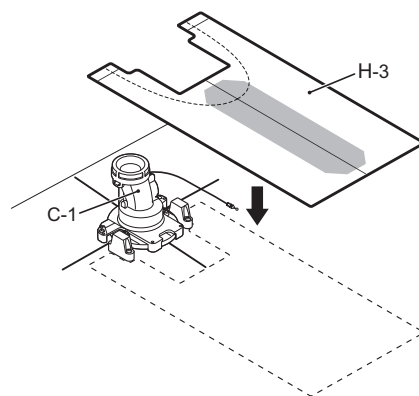
8



9

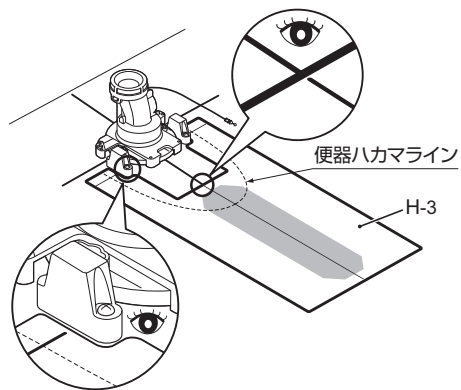


10

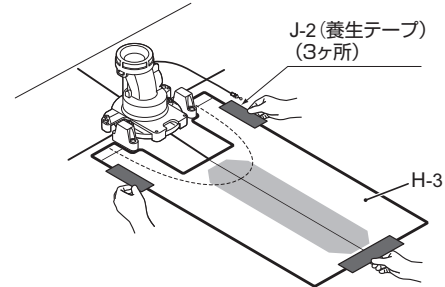


※設置する際、ゴミなどがないことを確認してください。

11

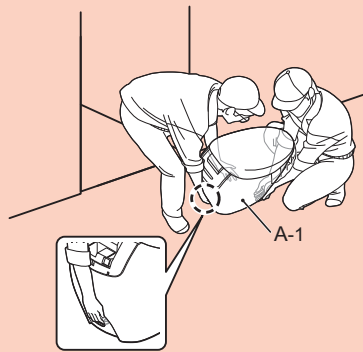


12



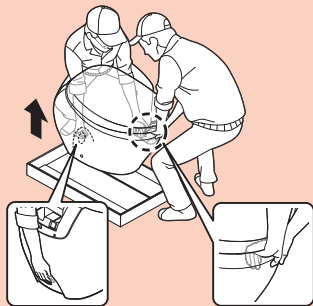
注意 養生テープは傷防止シートの外側に貼り付けてください。
内側に貼り付けると、便器取り付け後に傷防止シートを取り外すことができません。

13



14

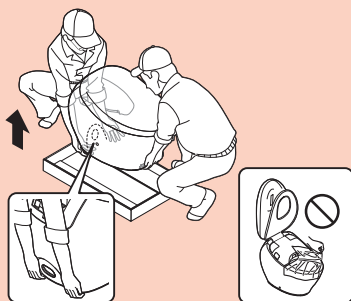
CS900系



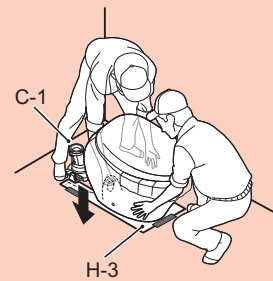
または

CS900系

CS901系



15



16

作業者①
便器(A-1)側面に回りこみ便器(A-1)後部を持ち上げる。



17

作業者①
便器(A-1)が排水ソケット(C-1)に干渉しない高さまで持ち上げる。

作業者②
便器(A-1)を後方に押し込む。
傷防止シート(H-3)の便器ハカマラインに合わせて、前後の位置を調整する。
センターラベルと傷防止シートの中心線が合うように設置する。

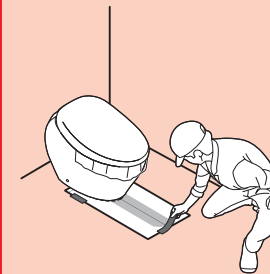
18



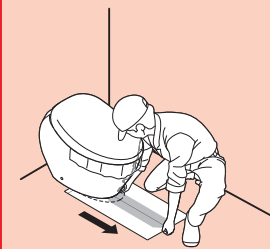
注意

- ・便器を下ろす際、後壁に手を挟まないようにご注意ください。
- ・取り付けの際、床と排水ソケットでワイヤーを挟まないようにご注意ください。

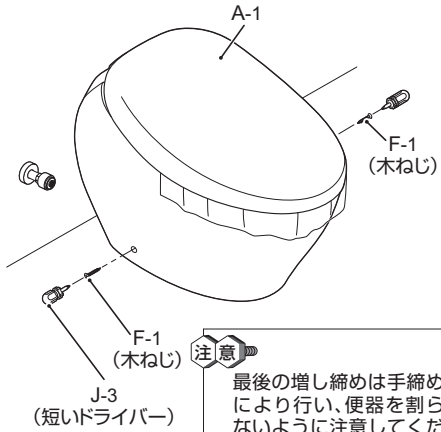
19



20



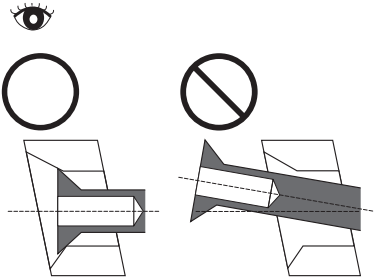
便器(A-1)取り付け後、床とハカマにすき間がないことを確認してください。



注意
最後の増し締めは手締めにより行い、便器を割らないように注意してください。

注意

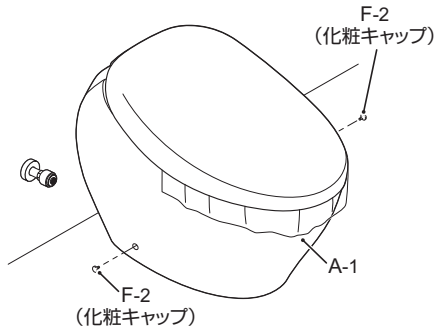
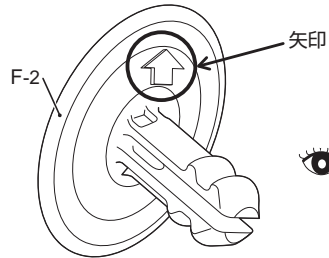
- ・木ねじは傾けず床面と水平にして、確実に締めてください。
- ・設置場所が狭いなど水平にできない場合は、短いドライバーを使用してください。



・締め過ぎて便器を破損させないように注意してください。

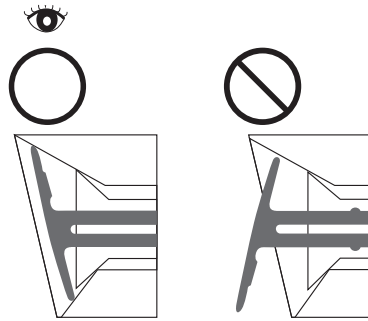
注意

化粧キャップの背面の矢印を上に向けて取り付けてください。

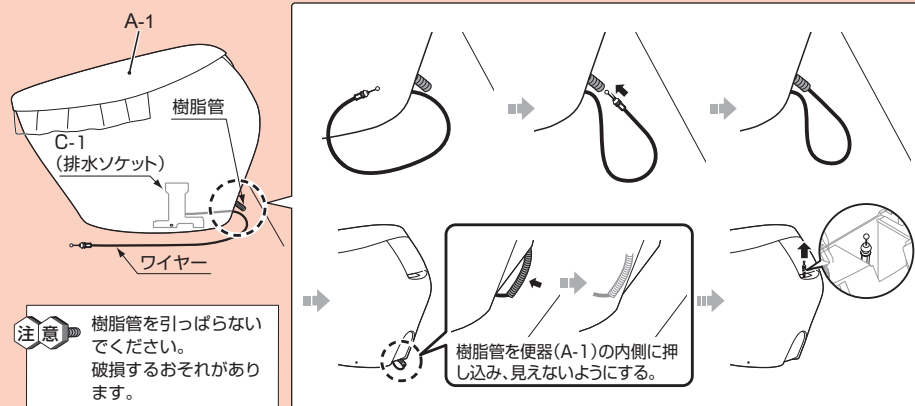


注意

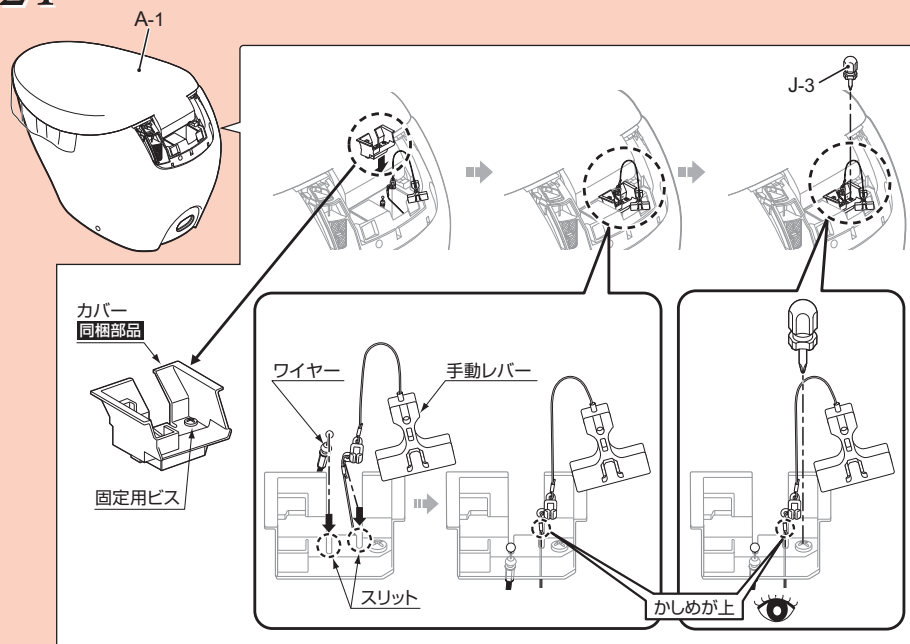
化粧キャップが便器の取付穴に収まっていることをご確認ください。



23

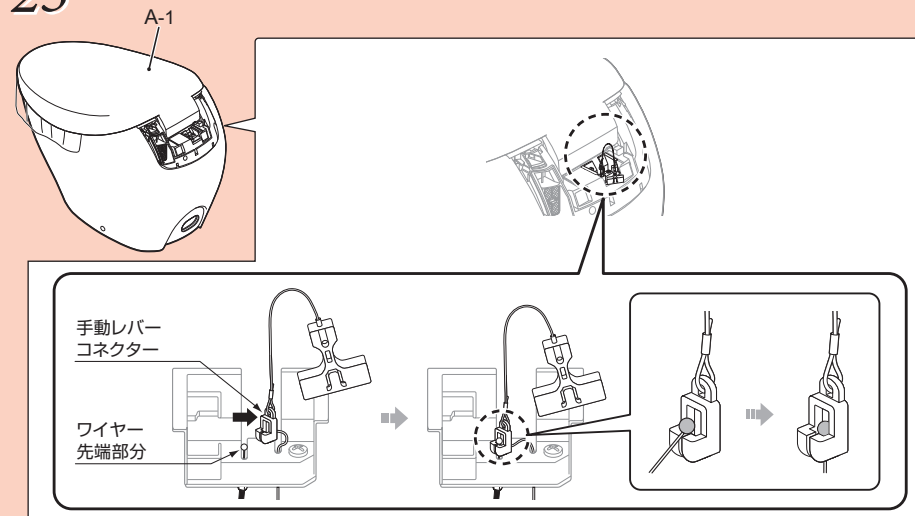


24

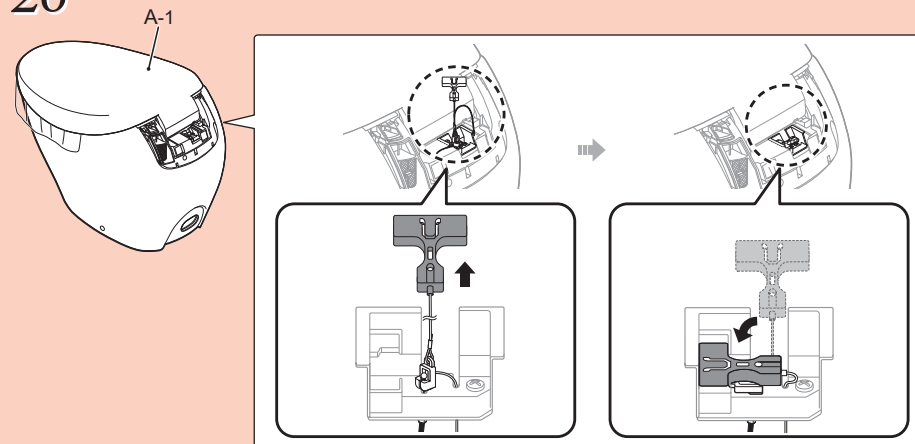


- ポイント**
- ①ワイヤーを引き出しすぎるとカバーを固定しにくくなります。
 - ②カバーを固定するときは、ワイヤーの飛び出し量を調整すると固定しやすくなります。
 - ③かしめをスリットの上にして引っかけてください。

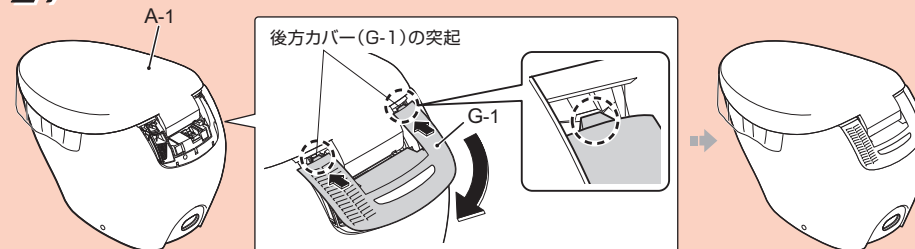
25



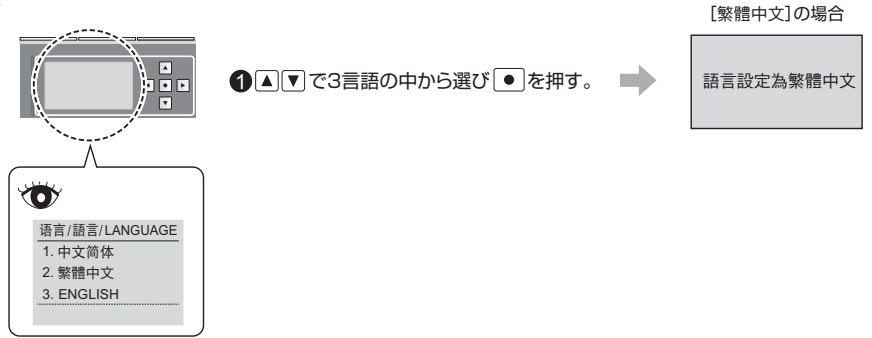
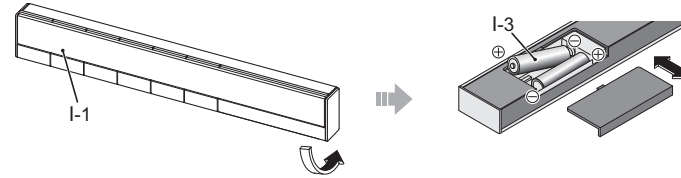
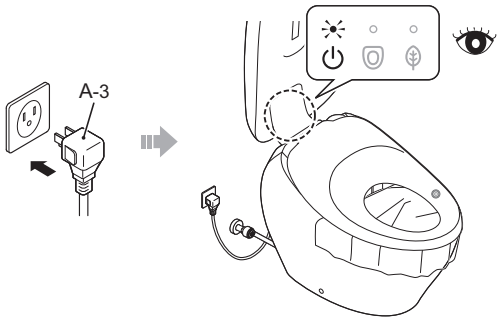
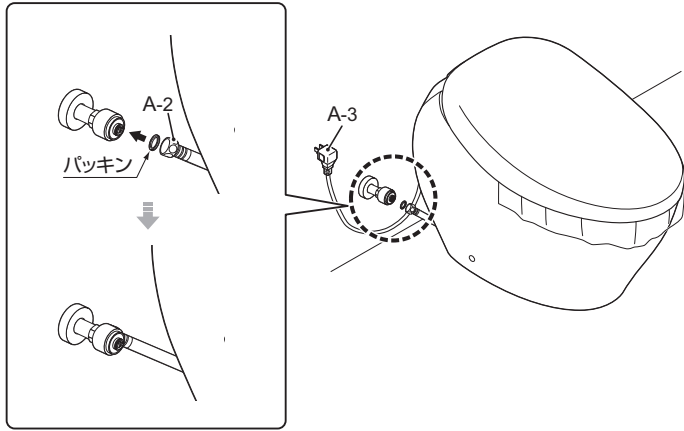
26



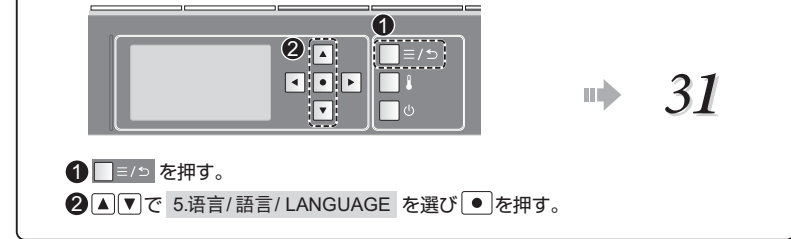
27



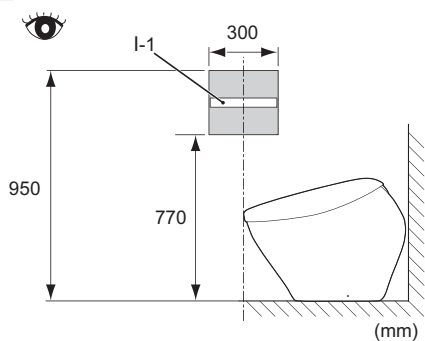
後方カバー(G-1)を取り付けた際、浮いているときはカバーを取り付けなおしてください。



言語設定を間違えた場合

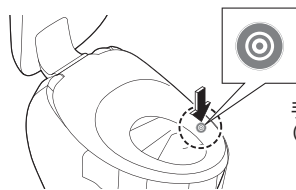


32

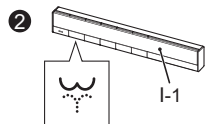


33

① 32 で決めた位置に仮置きし、I-1の受信確認を行ってください。



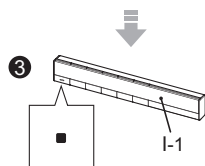
手または腕でラベル全体(着座センサー部)に触れる
 (③まで触れたままにしておいてください。)
 ・センサーの特性上、肌が直接触れるようにしてください。



34

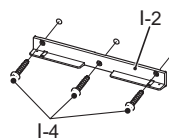
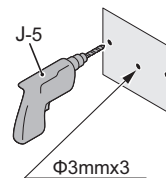
32

※同梱以外のリモコンを取り付けると作動しません。
 ●本体と、リモコンのラベルで組み合わせを確認し、同梱のものを取り付けてください。
 (表紙 **工事業者様へ** 参照)

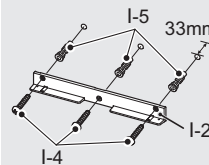


34

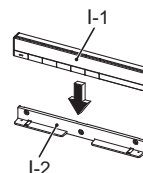
①



石膏ボードや
タイル壁の場合。



②



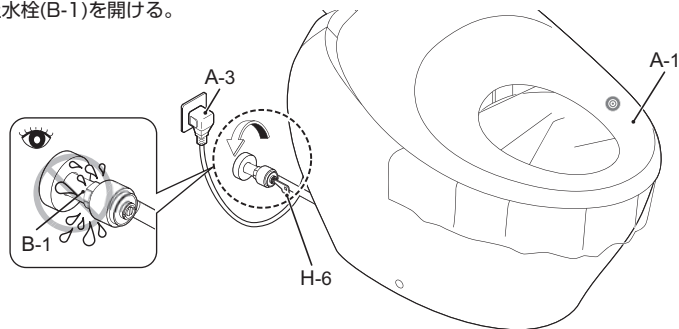
マグネットで固定します。

試運転

試運転は、電源工事が終わってから実施してください。

35

止水栓(B-1)を開ける。



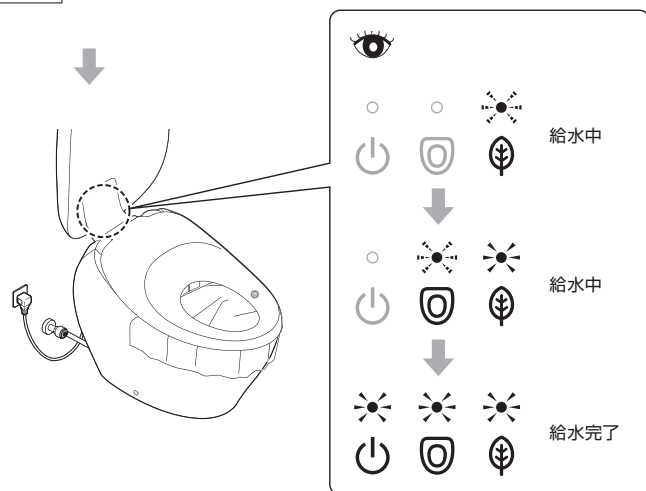
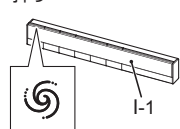
※開閉工具(H-6)は作業が完了したら、必ずお客様にお渡ししてください。

便器(A-1)に水が流れていませんか

→電源プラグ(A-3)をコンセントに差し込むと水が止まります。
電源工事が未完了のときは、止水栓(B-1)を閉めてください。

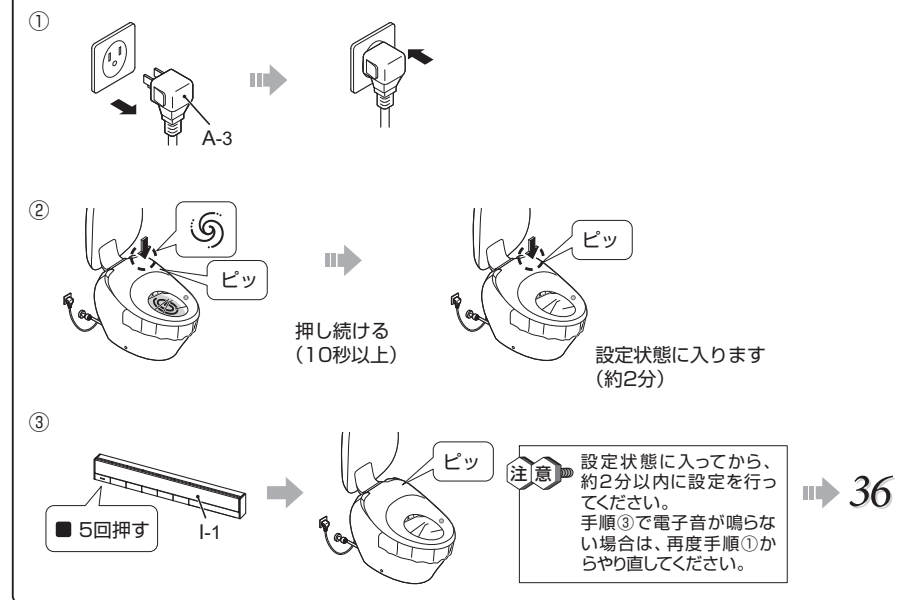
36

押す



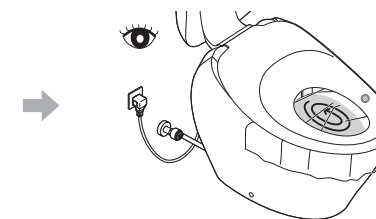
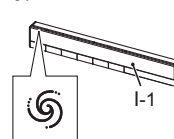
36 (つづき)

リモコンのボタンを押して作動しない場合

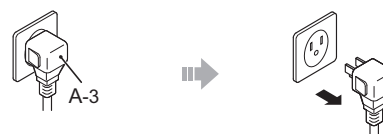


37

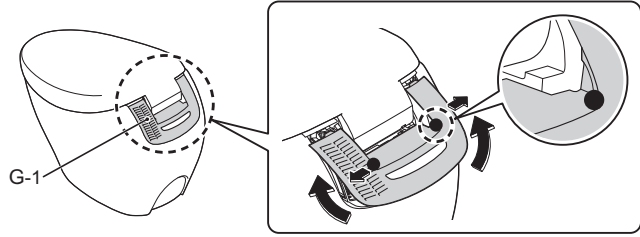
押す



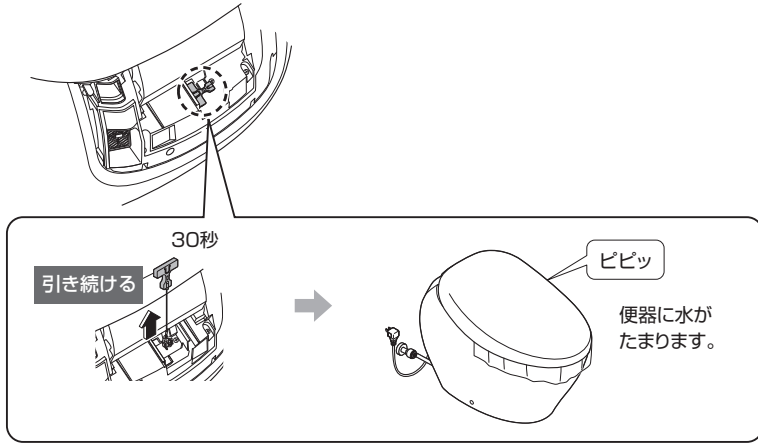
38



① 図の●部を外側に押さえながら取りはずす

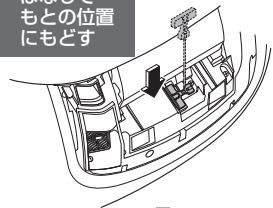


②



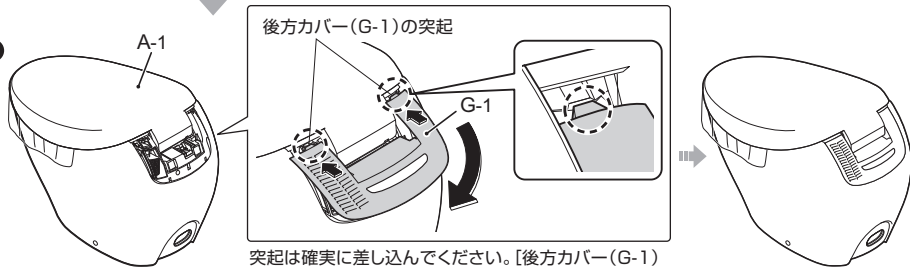
③

はなしてもとの位置にもどす

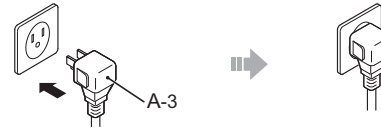


手動レバーをはなしたとき、便器の水が流れます。
※便器洗浄後、または途中で手動レバーをはなすと、約60秒間は便器洗浄できません。約60秒以上たってから、もう一度便器洗浄してください。

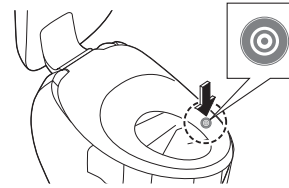
④



後方カバー(G-1)を取り付けた際、浮いているときはカバーを取り付けなおしてください。⇒ 24

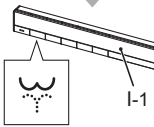


①



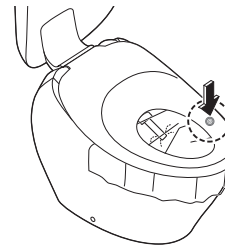
手または腕でラベル全体(着座センサー部)に触れる
(④まで触れたままにしておいてください。)
・センサーの特性上、肌が直接触れるようにしてください。

②

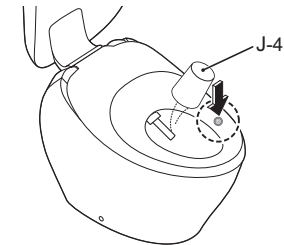


③

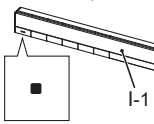
保護フィルムあり



保護フィルムなし



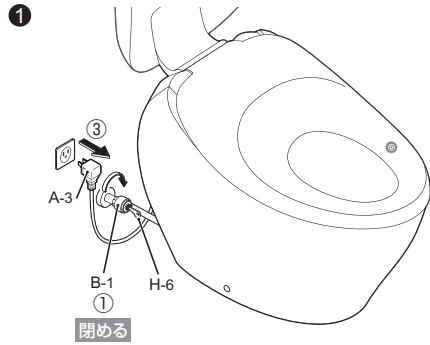
④



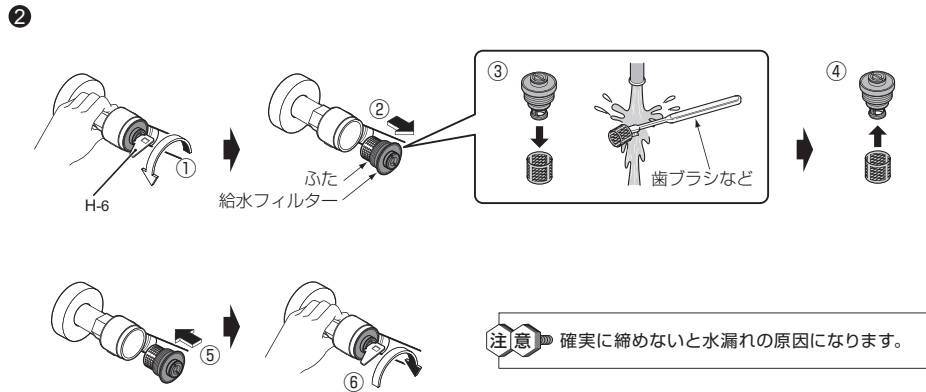
・試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。

42

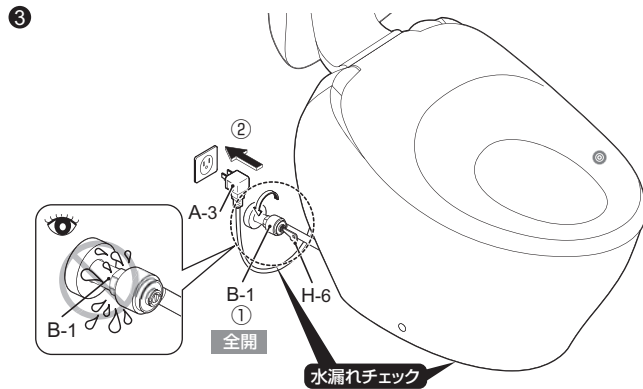
【便器部】



② 「ノズルきれい」ボタンを押す
・ノズルカバーが開く（給水管の圧抜き）

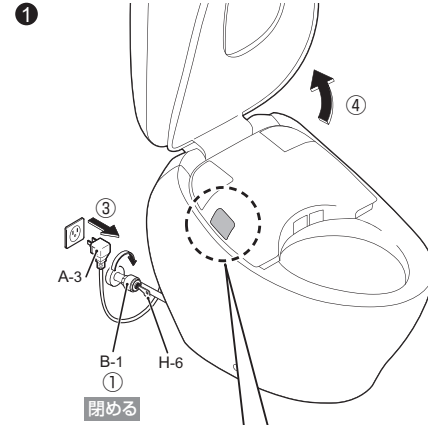


注意 ▶ 確実に締めないと水漏れの原因になります。

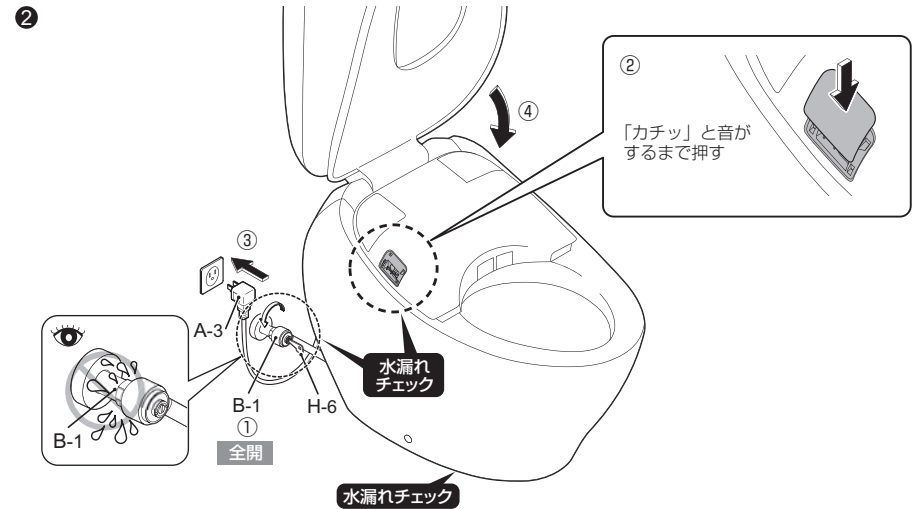
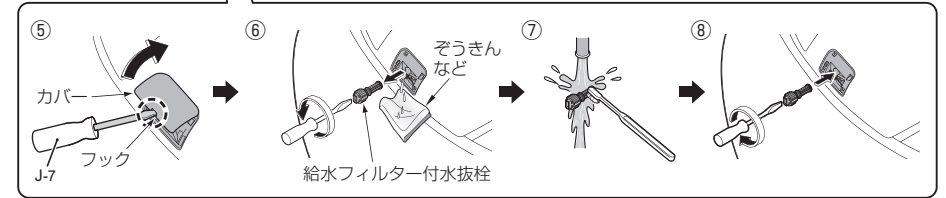


43

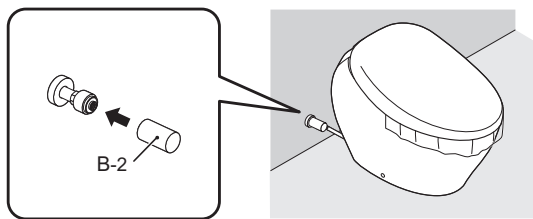
【ウォシュレット部】



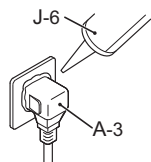
② 「ノズルきれい」ボタンを押す
・ノズルカバーが開く（給水管の圧抜き）



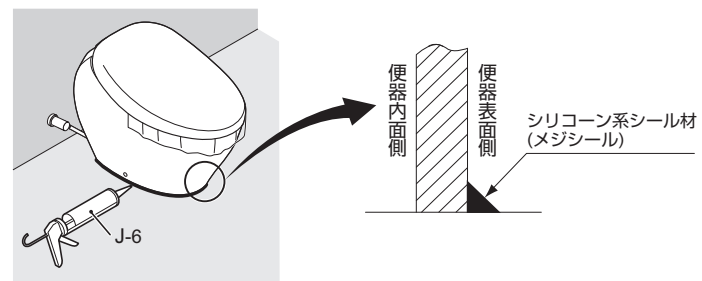
44



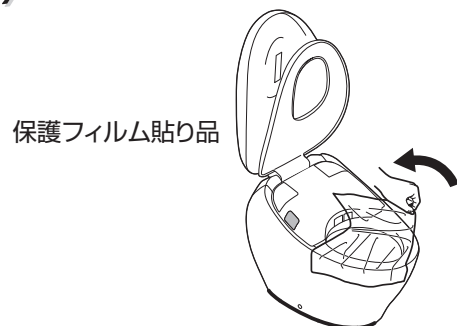
45



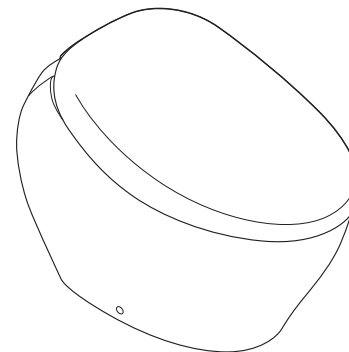
46



47



48



- 陶器表面に傷などがないことを確認してください。
陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。
- 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。
便器ボウル面の洗い残りの原因となります。